

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 1日

事業所名 しあわせ駅原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		事業所だけでも十分なスペースがあるが、思う存分身体を動かしたい時は、しあわせ館や近隣の校庭等も利用している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		指定基準に基づいた人数配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	完全バリアフリー化はされていないが、利用児童に対して配慮された間取りになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に話し合いを行い、目標設定を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを活用し、ニーズを把握できるよう努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		社外からのアドバイスがあれば、積極的に取り入れている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修を月に一度行い、外部研修にも参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを行い、チームで話し合いながら計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		チーム全体で話し合い、活動プログラムを企画している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		既存の活動も継続しながら、新しい取り組みも積極的に行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は日常生活の課題や、フラッシュカード等を使った全体レッスン。休日は身体を動かす活動や野外活動を取り入れながら、支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの状況や保護者のニーズに応じて、個別と集団の活動を考えている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々職員間で打ち合わせ、役割分担の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		保護者との会話の内容、支援の反省、改善点等の話し合いを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々個々活動の記録を残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングを行い、次回の計画の策定に活かしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		自立、創作、交流、余暇等を複数組み合わせ支援を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が主体となって参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて、情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアが必要な利用時が在籍していない。 必要になった際は連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要に応じて連携していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		要望や必要性がある場合は、情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		公園では交流があるものの、児童館等を利用することが無かったため、今後積極的に活用していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		機会があれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や、送迎時またはお電話等で情報共有を行い、共通理解を持てるよう心掛けている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		事業所での支援内容や工夫点を参考にさせて頂いたりしている。	外部講師を招き、ペアレント・トレーニング等の支援を行っていきたいと考えている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学時、ご契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があれば、適宜お電話や面談を行い、一緒に考えていける体制を整えている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年に一度、保護者参加のイベントを行っている。	より交流が持てるように、親子レクも検討中です！
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		些細な苦情であっても、迅速かつ適切に対応し、チーム全体で周知徹底・改善へ繋げるよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HP、おたより等で発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報保護法に基づき、十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		五十音表等活用し、意思疎通を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域交流が薄いため、これから積極的に参加していきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルの整備に併せ、職員は定期的に読み合わせを行っている。	「はら おたより」にこれから記載していきますので、よろしくお願いします！
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回、避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修を定期的実践し、職員全体で周知徹底している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在、身体拘束の必要用性のある利用時はないが、マニュアルの整備・職員間への周知は行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	フェイスシートや聞き取り等で、情報は収集している。	もし医師からの指示書があれば、コピーで良いので下さい！
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		怪我や事故等の情報を共有するため会議を開き、事故防止に努めている。	